

(23) 栄養学教育における授業モデルの検討

栄養学教育FD/ICT活用研究委員会は、22年7月、10月、23年1月、2月の4回開催し、学士力の実現に求められるICT活用の授業モデルの検討を行った。

食と健康の問題を様々な視点から考え、自ら計画・立案・実践・評価することで社会に関与できる能力を身に付けさせる授業デザインとして2例とりあげることにした。

一つは、食環境づくり(食情報・食物確保・食の消費と安全など)の必要性を理解し、実践できる能力を身に付けるため、食と健康の現場情報をネット上で関係機関から取り入れ、グループ学習を通じて学ばせて、その成果を公開し、社会の意見を参考に振り返り学習を行う授業モデルとした。

二つは、栄養マネジメントを実施できる能力を身に付けさせるために、大学間で教材を共有する環境を構築して、栄養ケアプランを立案させた結果をLMS上の掲示板に発表させ、学生同士による相互評価や専門家の評価を取り入れる授業モデルとした。